行政視察報告書

令和５年２月22日

長浜市議会議長　　松本　長治様

長浜市議会議員　　多賀修平[redacted]

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

１．視察等名　　行政視察
２．視察期間　　令和５年２月７日（火）～８日（水）
３．視察場所及び目的
　①　茨城県　桜川市　・公立病院の再編について

　②　東京都中央区日本橋　東京長浜観音堂　視察

　③　東京都　内閣官房こども家庭庁設立準備室
　　1）不登校児童生徒への支援について
　　2）我が国の少子化の現状及び対策について
　　3）ヤングケアラー支援の現況について
　　4）児童虐待対策の推進について

４．調査内容感想等
・視察の目的
① 長浜市の病院再編について、他市の成功例を参考にするために視察
② 東京長浜観音堂の現状把握のため視察
③ こどもを取り巻く現状を知り、問題解決の参考にするため視察
・視察の内容
① 筑西桜川地域の病院の再編
桜川市所在の県西総合病院と筑西市所在の筑西市民病院を統合し、筑西市に茨城県西
部メディカルセンターを整備し、併せて県西総合病院の統合に伴う桜川市の医療機能低

長　浜　市　議　会

下に対応するため、桜川市に地域医療センターを整備した。

位置づけは、西部メディカルセンターの後方支援をする。また、地域医療機関・さくらがわ地域医療センターと県西部メディカルセンターが連携し、積極的に「2 人主治医制を導入している。地域のかかりつけ医が「第１の主治医」県西部メディカルセンターが「第２の主治医」として、２人の主治医で患者を守っているのも特徴的である。

茨城県西部メディカルセンター・さくらがわ地域医療センター

② この度、観音文化の保存伝承のための支援者を得るため、2021 年 7 月から長浜の観音像を出張展示する「東京長浜観音堂」を東京日本橋に新たに開設した。約１か月ずつ長浜市内の観音さまにお出ましいただき、長浜の観音文化に触れていただく。このようなことをコンセプトに東京長浜観音堂が開設されている。

東京日本橋「東京長浜観音堂」

1）　不登校児童生徒への支援について

不登校の現状

○不登校児童生徒への主な支援

・教育支援センター（適応指導教室）の設置の推進

・不登校特例校の設置と促進

・不登校児童生徒に対する支援推進事業

・指導要録上の出席扱いについての措置等を行っている。

2）　我が国の少子化の現状及び対策について

○婚姻状況について

婚姻件数・婚姻率は、1970年代前半と比べると半分近い水準となり、2021年には戦後最小となった。

○未婚率と夫婦の子ども数の現状

・50歳時の未婚割合は、1980年には男性2.60%、女性4.45%であったが、直近の2020年には男性28.25%、女性17.81%に上昇している。

・夫婦の完結出生児数は、1970年から2002年まで2.2人前後で安定的に推移していたが、2005年から減少傾向となり、直近の2021年には過去最低である1.90人になった。

○夫婦の平均理想子ども数と平均予定子ども数の推移

・夫婦の平均理想子ども数は2000年代以降、緩やかに低下している。

・1990年代以降、緩やかな低下傾向からであったが、2021年の調査では前回と同じ2.01人と横ばいで推移している。

○理想の子ども数を持たない理由について

・子育てや教育にお金がかかりすぎるから

・高年齢で生むのはいやだから

・これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから

が上位を占めた。

3）　ヤングケアラー支援の現況について

○ヤングケアラーの実態調査結果

・令和2年度に中学2年生・高校2年生を対象に、令和3年度に小学6年生・大学3年生を対象にヤングケアラーの実態調査を実施した。世話をしている家族が「いる」と回答したのは小学6年生で6.5%、中学2年生で5.7%、高校2年生で4.1%、大学3年生で6.2%。小中高校生で世話をする家族は「きょうだい」が最も多く、大学生では「母親」が最も多い結果となった。

4）　児童虐待対策の推進について

○児童相談所での児童虐待相談対応件数とその推移

・令和3年度の児童相談所での児童虐待相談対応件数は、全国225箇所の児童相談所が児童虐待相談として対応した件数は、207,660件で、過去最多であった。主な増加要因として、心理的虐待に係る相談対応件数の増加。家族親戚、近隣知人、児童本人からの通告の増加。虐待相談窓口の普及などにより、家族親戚、近隣知人、児童本人からの通告があげられる。

内閣府子ども家庭庁設立準備室からの説明（議員会館）

・行政視察の結果を本市議会にどのように反映させるか

① 市議会において、ベストな考えに繋げていきたい。

② 存続させるかは疑問である。

③ 市政に反映できるよう積極的に施策に取り込んでいきたい。

東京日本橋「東京長浜観音堂」